

3.1 カール補正

カール補正ボタンによって、熱や圧力による用紙のカールを補正できます。

カール補正ボタンは、機械の電源が入っているときは、機械の状態にかかわらず操作できます。

補足

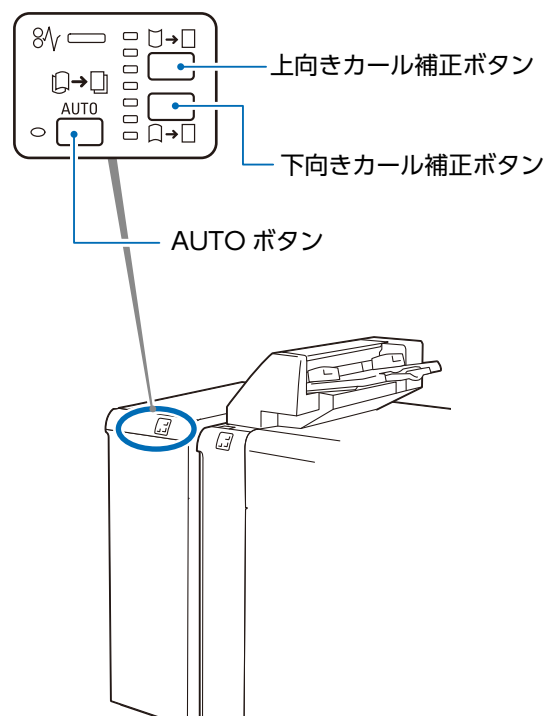
- このカール補正機能は、プリント中の補正用です。用紙特性に合わせたきめ細かな補正は、[用紙カール調整]で行います。
- ステープルはカールの影響を受けやすいため、排出される用紙のカール方向を確認し、常にカール補正をしてください。
- 機械が動作中に補正した場合、ボタンを押した直後の排出用紙から適用されます。

1. 用紙がカールしている向きを確認します。

2. カール補正ランプが点灯していることを確認し、ボタンを押します。

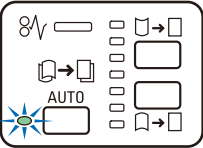
補足

- [AUTO] モードで用紙を走行させたときに、一瞬だけ、現在のカール補正の方向や強さを示すランプが点灯します。手動でカール補正をするときは、このランプの点灯を目安にして調整してください。
- 上向きカール補正ボタン、または下向きカール補正ボタンを押してカール補正をしたあとに、厚紙やエンボス紙、OHPフィルムを走行する場合は、[AUTO] モードに自動で切り替わり、標準的な補正值で、カール補正をします。
これらの用紙で、[AUTO] モードに自動で切り替わらない設定に変更することもできます。詳しくは、弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。



カール補正機能の動作と機能

AUTO ボタンを押すと、[AUTO] モードになります。



ランプ表示	モード	機能
	AUTO	自動的にカール補正をします。 通常は、このモードで使用することをおすすめします。 用紙サイズや排出する向きなどに応じて、最適なカール補正をします。
	OFF	カール補正をしません。
	上向きカール	排出された用紙が上向きにカールしているときに、上向きカール補正をします。 上向きカール補正ボタンを押すたびに、補正の度合いが切り替わります。 ランプの点灯が上にいくほど、補正の度合いが強くなります。
	下向きカール	排出された用紙が下向きにカールしているときに、下向きカール補正をします。 下向きカール補正ボタンを押すたびに、補正の度合いが切り替わります。 ランプの点灯が下にいくほど、補正の度合いが強くなります。